

1

(4・5・9・10 各完答)

1 どの親で
2 先回り

3 反発
4 A エ
B イ
C ウ

5 自己
6 ア
7 エ
8 ウ

9 催促
10 ア 1
イ 2
ウ 2

11 a 昨今
b 光景
c 試験

d 不思議

2

(3・6 各完答)

1 a 唱(称) えて
b 残念
c 物的

2 イ
3 I ウ
II イ
III エ
IV ア

4 超能力
5 ウ
6 A イ
B ア
C エ

7 ア
8 エ
9 (記述題)
10 毛が

11 U F
12 「いや、私

2

9 一平の言っていることがあまりにもでたらめだと思いいらいらする気持ち。

(同意可)

配点	
1 11 2 1	各2点×7=14点
2 9	6点
その他	各4点×20=80点
100点	

1 前半は先回り育児について、後半は「勉強しなさい」と言うことについて、という内容に分けられる。「勉強しなさい」と指示したり、「勉強はしたのか」とたずねたりすることは「子どもがすることを先回りして、親がやっつけてしまう」という「先回り育児」とは少し異なる「親がやるべきでないこと」である。

2 直後の文で「子どもがすることを先回りして、親がやっつけてしまうものだ」と説明している。「口出し」も入りそうに思えるが、さらにその後の文で「この現象(子どもがすることを先回りして親がやっつけてしまう現象)は、口を出さず傾向が伴うのが特徴である」とある。この三つの文のつながりを考えると①に「口出し」を入れるよりも「先回り」が適切であると気づいてほしい。

3 「いちいちうるさい」ということは反発しているからこそ出ることばである。「反応」も入りそうだが、「反発」のほうが適当なことばになる。

4 (A)はスイカに近づく様子を表す「そろそろと」が入る。(B)は母親が子どもに口出ししている様子を否定的にとらえた「いちいち」が入る。(C)は体を震わせる様子を表す「ビクツツ」が入る。

5 通読の際に——線③の二行前と——線③とが結びつけて読めればベストである。言いかえなので、「喜び」にあたる言葉を探してみるとよい。また、問1のように文章全体を切り分けて読めれば、前半に書かれているのではないかと探すこともできる。

6 親の言うとおりに動いている子どもの立場から考えると、親にいろいろ「してもらおう」ことになる。他の選択肢はすべて親の立場から見た言い方になることから答えがしぼれる。

7 直前に書いている親のことを言っているのではない。「勉強しなさい」という親は多いが、少数派として「世の中にはこんな親(直後の「勉強しなさい」と言わない親)もいる」と言いたいのである。指示語だからといって前を指すとは限らない。

8 この場合は、直前の三行のやりとりを指している。あとはそれを正確に説明している選択肢を選べばよい。アはそもそも筆者が勧める内容とは正反対なので論外である。イのように「勉強をする理由」は話し合っていない。エは「勉強するまで無言で接する」がおかしい。

9 「言われてやる」が「催促される」に近い意味で、「気乗りがしない」は「やる気がなくなる」に近い意味になる。また、問5と同じような考え方で、後半に書かれているだろうと考えることもできる。

10 アは本文三行目から四行目に書いてある。イは「すべての」がおかしい。ウは「親として失格」が言いすぎである。本文にも「程度問題」とある。

11 a「昨今」は漢字は簡単だが、言葉を知らないと難しい。bは意外と「光」の字を「コウ」と読む別の字で書いてしまう間違いが見られるので気をつけよう。cは「試」の右側によけいな線をつけないこと。dは特に「議」の形に注意すること。

2

1 aは「唱」の右側を「目」と書かないこと。bは「念」の上部の形に注意すること。「令」ではない。cは意味がわかるかどうかのポイントである。

2 直後の「顔つきに闘争心が滲んでいた」というのがヒント。

3 前後の発言につながるように入れていけばよい。Iは直後の発言で「空を飛ぶタヌキ」がいるということをやっている。IIは直後に「UFO」について話しているのでIになる。IIIのあとの発言が「宇宙人……ですか」となっている。IVは直前に言っている「インチキだという説」をアで「ひねくれた考え方」と表現している。

4 「後者」とは二つ出したものの後のほうを指す表現である。二つとはこの場合、一平が自分で言った「ふつうのタヌキ」と「超能力タヌキ」の二つである。

5 「考えられないもの」を選ぶことに注意すること。アは直後の「懐かしさに溢れた光」から素直に考えると最もあり得る。イはこの場面自体、仮に一平がそう考えて「UFOタヌキ説」を唱えていると読むこともできるのであり得る。エは「この目で見ました」という自分自身が実際に見たという事実を伝えて、みんなにその存在を知ってもらいたいと考えているととらえられるのであり得る。

6 (A)は「UFOとは未確認飛行物体の意味」という内容を言いかえて「確認しておられないわけだ」としているので「つまり」が入る。(B)は「確認しておられない」ことを理由として「私がタヌキだと教えてあげているのです」と言っているので「だから」が入る。(C)は「大矢の口元がびくびくとひきつった」にもかかわらず、「一平は構わず」としている。「しかし」が入る。

7 主語とは「何が」「誰が」を表す言葉である。「誰が」見せたのか考えればよい。ちなみにクを選んだ場合は「くを」という形の言葉は決して主語にならないことをおさえておこう。

8 一平の発言がのけぞった原因になっている。誰もが「タヌキ」と思っていないものを一平が「これらは全部タヌキですから」と言ったのである。当然おどろくだろう。

9 「赤らめて」という表情や、直後の「ふざけるな。これのどこがタヌキだ」という言い方に注目すれば「いらいらしている」という心情は読み取れるのではないだろうか。あとは何に対して腹を立てているのかであるが、当然一平が言っていることに対してである。一平の言っていることは大矢にとつてあまりにもでたらめだと感じる事なのである。

10 この指示語が指しているのは当然写真に写っている「ふしぎな生物」である。一平が言うには「脱毛する」「つるんつるんに全部抜けちゃう」ということなので、それにしたがって前後のつながりに合う七字の表現を探せばよい。探す範囲も限定されているはずである。空さんの前に「体の」とあるので、ことばが重複してしまう「体毛の全然ない」よりも「毛が一本もない」の方が「適当な」ことばになる。

11 この言葉の「私」とは一平のことだから、一平の説である。はじめからずっと一平は「UFOタヌキ説」を自説として話を展開していったのであった。

12 「会ったことがあるんですか」という質問に対して、「いや、私は会ったことはないが」と答えているのである。会話の流れが多少不自然になっていることにも気づいてほしい。また、直後の五字を答えるということにも注意しよう。